

「1. 17メッセージ」応募用紙

阪神、淡路大震災が起こったとき、私はまだ3歳でした。でも、テレビなどで見た、その時の様子は今もはきりと思い出すことができます。また、そのころ近所に住んでいた高校三年生のお姉さんが、「卒業旅行に行こうと思っていたけれど、神戸へボランティアに行くことにした。」と言っていたとお母さんに教えてもらって「すごいなあ。」と思ったことも覚えています。

あれから十年たち、被災地が復興されてきたと思った矢先、今度は新潟県中越地震が起こり、また大きな被害が出てしまいました。私は中学一年生になりましたが、まだ現地でのボランティア活動には参加できませんでしたが、でも少しでもと思い募金には参加させてもらいました。

災害が起こったとき、一番大切なのは人と人との心の結びつきだと思います。私はどんなときも「うれしい気持ちはみんなに分けたら二倍に、悲しい気持ちはみんなに分けたら半分になる」というこんな簡単な心の計算

(お名前) ^{やまもと}山本 ^{ひろみ}裕美

(年齢) 13歳

(ご住所) 三重 都道府県 桑名市郡

を わすれないで
すごしたいと思います。

メッセージ: 忘れもしない10年前、当時私は14歳でした。
友人を亡くし、悲しさに打ちひしがれた数日間は一生涯忘れない
と思う。

でも10年経ち、大人になった今私は社会人になり今大きな壁に
ぶち当たっているけど、心の中に生きている友人がエールを送っている
ような気がして頑張っている。

1月17日 この日が毎年くるたびに、一步一步成長できたらと
思います。

名前: 山本 拓也 (やまもと たくや)

年齢: 24

住所: 三重県度会郡

「1. 17メッセージ」応募用紙

旧武庫郡魚崎町の横屋ハ幡神社真南隣りで生れました。そして六十年間還暦を迎える迄、幼稚園、国民学校、始めて出来た新制中学校で学び、遊び、色々子供ながら体験した中で、四才の時阪神大風水害にあり、やと大人の育大程に成った水漬が何んか泥地ぬかるみきどらぎらうぎ歩行出来る状態になった時、亡父の兄弟弟子にあたる方三人が師匠よりの命で、兵庫区須佐野通りにあった赤尾お、おれぎり、漬物職人等当時の一般家庭に良く有った重ね式の食箱を三おき三人が三人組交互に肩に棒をのせて、2キロもある行程を何時も掛かて、私達のため食糧支援された事、感謝の念と父母達の涙が幼児の胸に今でも焼きついて、謝々、お数百年後の阪神大空襲でその恩師宅が戦火のため焼失、当時国民学校五年に成ったばかりの小生と所親三人で富山の里より頂いたお餅米を塩味の「おはぎ」を沢山作り分け持ちながら先生御一家の安否を確かめつつ最寄りの学校を探した結果、借家人が疎用していた空家同然の家が運良く火災からのがれていたため、それ避難されたことと人伝で聞き出しお会いする事ができ両親共々ほつと救はれて、平成六年十月二十三日迄の約半世紀戦後の食糧事情悪、衣食足つて利節さ知りどうでは有りませんでした。東京オリンピック、大阪千里の万博、経済大園化が進み、土地成金とか色々投機による運、不運の起伏激しき時代です。迷い子の捨犬を妻が連れて来て約10年と成った愛犬千七が、師走に入ると急に夜泣きの凄げに成りかみどと成り、屋内の二階で私共と一諸に夜だけ過すやと安心したのが、おとどしく成りました。今は亡き愛犬千七が身体を張って翌年1月17日早朝に起つた大地震を本能で察知し、私達一家に必死に成り、24が一諸れながら逃げまよようと訴えていたとしか思いません。祈各位之至福

(お名前) ^と 小竹孝昭 ^{たけの あき}

(年齢) 70才

(ご住所) 滋賀 都道府県 高島市 郡

阪神・淡路大震災で被害を受けられた皆様様に私に出来る最大限のお手伝いはボランティア活動しかないと鬼いつつ、リュックサックに這入るだけのおにぎりを肩に背負い、又両手には持てるだけの新鮮野菜、漬物を持参し被災地に出かけた時のことです。某避難所を尋ねました所、数百人の老若男女が共同生活をされいまかいまかと食料を待ち望んでおられる状況でした。この厳寒期に救援物資で飢えはしのげても暖房のない場所では寒さに耐えられなく、又体力の消耗と先行きの不安をかかえ避難生活を余儀なくされておられる方々を思うと切なく目から熱い物が流れてきました。小生の子供達は物の豊かさの時代に生まれておりますので“おにぎり”に接する機会は少なく改めて“ひと粒の米の大切さ”を感じましたと共にこうして生きていられるだけでも感謝しなければと家族で話しております。尊い犠牲者が残された教訓を無駄にしないよう精一杯頑張っている昨今です。

滋賀県八日市市

井田 壽一

57才

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

今日、学校から学習に来て地震の事をさらによく知れたと思
います。一瞬にして何もかも消え、何人もの命が逝く地震
は絶対に来てほしくないです。この大震災の時、私は5歳で、
京都府に住んでいたため、弱い地震で何もありませんでした
が、小さいながらもその時にテレビで見た事は覚えています。
何かの映画かと思っ^た。 ^旅
しかもその前日まで淡路に旅行に行っていたので、ゾッ
とした。
新潟でも大きな地震があったところ、いっ何か起
こるかわからないので、怖いけど、それでも生きていきたい。どの動
物でもそうだと思う。

ふりがな お名前		年齢	14才
ご住所	滋賀 都道府県 津 大津 市郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私は 学校の行事で来ました。私は 最初に行く前までは「早く行って30分くらい見たい」と思っていました。でもここにきて最初に見たやつを見たときすごく小怖かったです。こんなにすごかったのかと思いました。私はその時5才だったのでなんのこともぜんぜんわからなかったです。でも今日ここにきてこんなにすごかったのかと思いました。テレビとかをのりみても、「なんかすごいぞ」くらいしか思っていなくて今、ここにきてこんなことがあったことをしる感じができてよかったです。

このまま知らないままいたらきっとこうかいすると思いました。今日このことがわかってよかったです。でもすごく小怖くて今日の夢にもでてきそう。小怖いです。また何年かたって見たらここにきたらまた見たかかあっていると思います。また来たいです。

ふりがな お名前	たわら 俵	ゆうき 有希	年齢	14 才
ご住所	滋賀県	都道府県	大津	市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

私の母は1995年2月22日に40才で、カンでなくなりました。丁度カンの末期で苦しんでいる時大震災が起きました。病院に入院中です。このテレビを見ての事はかて、姉がうみんにもと前でした。この災害被害者のうみんも。母と私は今も辛いテレビ。映画を見て字（おんが）笑って前になりました。あの時姉は、自分からかたかたにうみん。是れをうみんと愛して。この災害被害者の人の死と私を助けて。

私の母が命。この世の人の苦しみはうみん。今もこの世に生きています。うみん。うみん。うみん。

ふりがな お名前	阪神 豊明	年齢	67才
ご住所	高島 都道府県		市・郡

「1. 17メッセージ」応募用紙

1995年、私は京都の桂に住んでいた。1月16日の夜、いつもなら静かに菓の中を眠る千の文鳥が、籠の中を落ち付くなく飛び回り、入口を開けてくちと言わんばかりに何度も鳴いた。そのうち石とらしくなるだろうと私は先に寝た。17日の夜明け近く、地震。何も出来ず、布団をかぶって待たざるのを待た。子供達が私の部屋に集まって来た。電気が付かない。天井の上の物や、本箱の本が落ちて来たのは音ぞわかった。ろうそくを灯し、窓を開けた。信号が消え、街灯も消え、まわりの家々も真黒だった。しばらくして夜が明け始め、外の様子を見るニヒが出来た。街は静かで、道も建物も普段と同じだった。「あー良かった。大したことはない。」私はそう思った。1時間近くすると電気が付いた。いつもと同じ一日が始まろうとしていた。朝の支度の中でテレビをつけ、次の瞬間体が震えた。何という事が起きたのか。信じられなかった。いつもは騒々しい子供達も黙って画面を見つめていた。息子は転校して西宮に住む親友と案じ、娘は私と行った紅茶の美味しいスリランカ料理屋さんを心配した。

後日テレビで芦屋の万子の御住職が、七つおたふたに午向ける花が白い、と涙ぐみ訴えておられた。私は、はっさくと文庫本を詰めたりユックを背負い、菊の入った長い花箱をかえて阪神電車に乗った。車内にはほ独得のにおいがあった。人々は誰一人何も話さない。窓の外には果てしなく景色が広がり、くすんだ家の物干しにそのまゝ残された子供の洋服が悲しかった。

神戸の皆様、あの朝「大したことはない」と思ってしまったこと、本当にごめん下さい。
10年経っても、20年先でも、私はあの風にはゆかっていた赤い服を忘れない。

とけり けり
(お名前) 富山 孝子

(年齢) 54

(ご住所) 滋賀 都道府(県) 大津 (市・郡)

近畿阪神淡路大震災 (廿)

田中詔夫

平成七年一月十七日 この日は自分にとって、再出発の日だった。前年十一月二十六日の明け方、突然に発症した心筋梗塞から復帰して、初出勤を予定していた。初出勤だから早めに目覚めようとしたところだった。激震に驚き、出勤前、出勤後もブレレから離れない状態になってしまった。親戚の家がなくなったところだとも思わなかった。体力の範囲を考えたから無理に動かないほうがいいと思い、朝からのことを歌に纏めるだけのことにした。歌は歌より、無言でもいろいろから記録の歌として残そうと、メモ代わりに歌を残しました。

目覚めたら何故か寝てしまった。もう起きよう。もう起きよう。

震度4の震度4と報じられた。神戸は静かならう。

神戸では死者二十七人、家倒れ電話不通。テレビは通

じり。テレビは通じない。地震の被害は、神戸の入り口から上

幾本も繋ぐ。ホームの先の橋は、水流れず。

阪神は、この死者の増え続ける。神戸は、神戸は、

電気ガス水道電話壊滅。道路は、絶えて。震度4は、

大層な事だ。神戸は、神戸は、神戸は、

五千もの命の消入。街にいて三十万人のお避難する

震度4は、朝に焚き火と集まる人々。神戸は、神戸は、

震度4は、神戸は、神戸は、神戸は、

鉄道、道路、港の揺れ。神戸は、神戸は、

「水、田中詔夫の神戸は、神戸は、神戸は、

避難所に、神戸は、神戸は、神戸は、

神戸は、神戸は、神戸は、神戸は、

神戸は、神戸は、神戸は、神戸は、

誰の無き神戸は、神戸は、神戸は、

京都市

田中詔夫(たなかのりお)

のこり

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

かなしお、たご
 いっは⁰い人 死んで
 かないそご

ふりがな お名前	麻	年齢	13 才
ご住所	京都	都道府県	市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

とても かわいい
た。た。
じしんは自然が
おこすことだから
ことわざじゃないから
いいから

ふりがな お名前	かさと	年齢	12才
ご住所	東京都	都道府県	市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

1995年1月17日 大好きな神戸の街は崩壊し、思い出深い懐かしい風景が音をたてて崩れていった。TVに映し出される変わり果てた街並み…。人間の築いてきたものがこんなにも脆くあつげなく壊されてしまうことを思い知らされた。

新聞で「神戸の壁」のことを知り訪ねた。夕暮れ迫るなか、満身創痍の薄い壁は、なぜか誇らしげに堂々としていて不思議なエネルギーを発していた。私は大急ぎでその姿を描きとめた。

壁は長田区公設市場の防火壁だった。昭和2年に建てられ、第二次世界大戦の空襲をくぐり抜け大震災にも耐えて残った。壁に『隠れ文字』が発見され、これを手がけた職人さんの自信作だったことがわかった。歳月を超えて戦争と地震を超えて、精魂傾けた人間の創造物は新たな生命を持ち、今を生きる人々にメッセージを送ることができるのだと思った。

「神戸の壁」は今、淡路島の津名町に立っている。壁の保存を願った人々の想いが同じ被災の街に届き安住の地を得た。私も壁の不思議なパワーと描き続けてきたコスモスの縁に導かれ、震災への想いを形にすることができた。 *1/20～25京都で個展開催 案内状同封

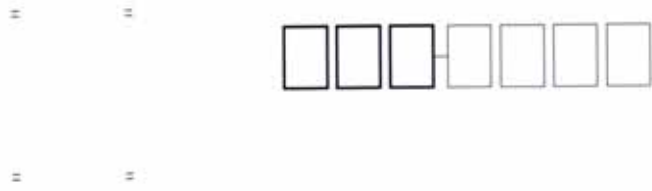
悲しみや辛さをエネルギーに活動することで乗り越える…。人間の逞しさを感じるとともに、そういう形の癒しもあるのだと思った。

震災から十年、私たちが学んだことは何か、それを未来に繋げるにはどうしたらいいのか、もう一度見つめ直していきたい。

うゑのぞのふ
よりがな
 (お名前) 上野園代

(年齢) 40代

(ご住所) 京都府向日市



上野 園代展
 2005年1月20日(木)～1月25日(火)
 11:00-18:00(最終日 17:00)

ギャラリー三条柳馬場
 京都市中京区三条通柳馬場東入
 TEL 075-221-1072

- ◆地下鉄「御池駅」 5番出口 徒歩 5分
- ◆阪 急「烏丸駅」 13番出口 徒歩 7分
- ◆京 阪「三条駅」 6番出口 徒歩10分



cosmos wave
 『神戸の壁』震災を超えて—



SONOYO UENO
 2005.1.20(木)～1.25(火)
 ギャラリー三条柳馬場

切り取り

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)	
住 所	京 都 都道 府 京 都 市・町・村
フリガナ 氏 名	高 原 一 男 (66歳) 参加総人数 (申込者を含む) ※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

早いものですね、あれから10年ですか。
あの日のTVからの光景は忘れません。

あの日から10年。新潟中越地震でまたいろいろ思い出された人も多いことでしょう。あの日、私は前夜から風邪で高熱を出し、揺れる中、落ちてくるCDや割れたガラスもそのままに、ようやく起きて病院へ行き、報道に接したのは2時ごろ。大好きでよく出かけていた神戸の変わり果てた姿が、ショックでした。10年が過ぎ、ほとんど元通りになったように見えていても、更地がそのままあったり、古くからあったお店がなくなっていたり、その地におられた人のことを思います。ご無事だったのかなど。復興したように見えていても、心の中までお元気になられたのかなど。『がんばろう阪神淡路!!』でがんばりすぎて疲れておられないかなど。ガスが復旧したからと友人から届いた春を告げるイカナゴのクギ煮。少し疎遠でお見舞いも何もしなかったのに、うれしくて。それから毎年届くたびに、あの時の気持ち、震災後の大変さを思い出しています。(20×20)

京都市

はしかわ あつこ
橋川 篤子
46歳

画用紙・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	京都 都道府県	京都 市・町・村	
フリガナ 氏 名	ハシカワ ヒロコ 橋川 薫子 (46歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。) あの日から10年めの今日、初めてメモリアルウォークに
参加させていただきます。兵庫県内に友人が多く、あの日安否を心配したこと
がよく再会できたことをこの日にたると毎年思い出します。そういう友人と話して
いて、震災前・震災後というふたつの時間のものさしかつこころにはあると
に気づきました。まだ希望の持てない日々を送っていらっしゃる方多いと思います。
すべての人が心から笑いあえるそんな日が早く訪れますように。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)				
住 所	京都	都道府県	京都	市・町・村
フリガナ 氏 名	田中 節子	(65歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

一瞬の出来事 あまりにも大きい悲しい災害 周りの人とのつながりを
支えに悲しみから立ち上がり 元気を出して頑張って

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神大震災以来、少し地響きを感じるだけで心がドキッとします。
時間は過ぎても、体と心は覚えているようです。
二度とあのようには大きな被害にならないよう、個人が
できることをしっかりやるのが大切だと思います。

ふりがな お名前	麻田 唱子	年齢	22 才
ご住所	京都 都道府県	京都	市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

テレビや新聞で観る限りは建物など
外見的な復興は進んでいると思います。
あとは心の完全復興をお祈りいたします。

(お名前) 浅川 貝南司

(年齢) 25

(ご住所) 京都 都道府県 京都 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神大震災から はやくも10年という時間が
過ぎ去りかけていきましたか

震災前の神戸の街を好んでしたか

震災後の神戸の街は、もっと好きになりましたか

ほんとうにたくさんの方ががんばって神戸の街
を復旧、復興に力を尽くしていると思いますか

これから、おもしろい街神戸であってほしいです

ふりがな お名前	山崎 哲也	年齢	35才
ご住所	京都	都道府県	京都府

「1.17メッセージ」応募用紙

私は神戸にいましたが、被災で実家に帰る際 30 分の道を 7 時間 30 分かかってくるまで移動。女の私が渋滞の中大変そうに見えたのでしょう、バイクに乗ったおばさんが抜け道を教えてくれました。自分も忙しいだろうにその道まで連れて行ってもらいました。どこの誰だかわからない人に親切にしてくださいました。ありがとうございます。震災のときは水はもちろん、電気ガスも全部公共のものは駄目でした。今みたいに携帯が普及する時代でもなくとても不便に思えました。食べ物の確保なんて出来ませんでしたからあるものを食べていましたし、水道管の破裂している所で洗濯したり買出しに歩いて何時間もかけて。でも皆が声をかけ話してくれると自分も自然に人に声をかけているものです。そういうものに支えられて痛んだなーと感じます。

(お名前) 金子まさみ

(年 齢) 38

(住 所) 大阪府豊中市

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私は小学5年生の時に福井大地震を経験
 した。立っている事さえ出来なかったこと、口々に
 有るだけは何も出来なかった事、今も思い出の中
 です。高校からの30年程の友も声援を失くし
 それは今も忘れられませんが、今新潟で
 毎日、余震か大地震程で連日続
 き早く平常になれと心から願っ
 ております。

ふりがな お名前	奥田 俊子	年齢	66 才
ご住所	四條畷市	都道府県	市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

この1.17という数字は絶対忘れるといけないと思えます。
 私は5木の②ご子に体験しました。でも神戸はもとすごかったんだと
 あらためて実感しました。あつという間ですから逃げられなくちがいの
 多かったです。でも現在は、とてもきれいな町へ変化していると思
 います。いずれまたおきる時またこういうことにならぬよう
 みんなが自分の身を自分で守ってほしいと思えます。

ふりがな お名前	吉松 千里	年齢	(4) 才
ご住所	大阪	都道府県	寝屋川 (市) 郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

今までは、大きい いしに あったとか、
 家族を亡くして 悲しいでるとか、
 生き残ってること だけで「スゴイ」とかから、
 今、かなり楽しく生きていたら 損！！
 今まで、かなりイヤイヤのことが いしにのせいで 死んでしまった
 のに、生き残ってる人は 悲しむより 楽しんで！！

ふりがな お名前	友山 佐知	年齢	13 才
ご住所	大阪 <input checked="" type="checkbox"/> 都道府県 岸和田 <input checked="" type="checkbox"/> 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

大切な人がいなくなると本間
 めっちゃ、つらいねなあって思った。
 まい地震がきてもくいつか生きていきたい
 思います。

ふりがな お名前	岸田美樹	年齢	12 才
ご住所	大阪 都道府県 岸和田 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

たとえじゅんがきても
 セビ、ってるんと大切な人のことを
 思い出しながらがんばって
 生きていきたいと思います!!!

ふりがな お名前	種木 千里	年齢	12 才
ご住所	大阪 都道府県	岸和田 市・郡	

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

この地震が起きたとき私は5歳で、何もわかりませんでした。大阪が壊れてしまった。5歳のときは、この地震の被害がどれくらいかわからなかったけれど、あらためて、この地震のことを思い出した。

ふりがな お名前	いづみ 岩部	ほし 祥子	年齢	15才
ご住所	大阪	都道府県	寝屋川	市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

今日、校外学習で地震を体験できて良かった！思ったよりもすごかった。

よかった。

これから毎日を大切に生きていこうと思った。いつ地震が来るかわからないから！
 日々大切に生きよう。

ふりがな お名前	みずぐち あいか	年齢	13才
ご住所	大阪	都道府県	岸和田 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

こわかった。1度7はこんなだと思わなかった。
 このしんさいがまたあって妹やお母さんがしんだら
 大泣きすると思います。こんなしんさいがあったら
 死ぬと思います。あい!

ふりがな お名前	北村 華穂	年 齢	才
ご住所	大阪	都道府県	守口 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

あから9年半、少し忘れかけていました。
申し訳ありません。

今又、新潟地方での災害で
どこで起こるか分からず、いかに
不安を感じています。

兵庫、神戸の方々の頑張りと
見習ってみたいと思います。

ふりがな お名前	榊 美子	年齢	88才
ご住所	大阪府 四條畷市		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

なにかサバイバルのヒントを探しているかなあって思っています。校外学習で来ているのかな事がわかりました。!!! 一緒にがんばりか
一生これといて!!!

ふりがな お名前	島本 利	年齢	13 才
ご住所	大阪 都道府県 山和 和田 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

とてもこわくてしんどさがこんなにこわいなんて
 思わなかった。生きぬくにはみんなで助けあって生き
 ていかなきゃと思った。

ふりがな お名前	町田 忍 満	年齢	10才
ご住所	大阪府 大阪 守口市		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災は私亲身体験したけど、
 ここまでひどい被害があったことはあまり実感していません
 でした。地震の被害を改めて知って
 すごく勉強になりました

ふりがな お名前	森明幸美	年齢	14 才
ご住所	大阪 都道府県 寝屋川 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

いっ ぶつうい大きいじしんがきてい
 死ぬかもおかしはんから...
 今を楽しく生きましょっ
 つらいことも 悲しいことも 笑ってすましょお〜
 自分^{おれ}の知り合いが 亡くなってしまふのも 悲しい。○○
 けれど、その人の命も生きましょっ (3-3)
 元気なましょっ 女
 人生がっこ っ口 (3-3)

ふりがな お名前	津田 美波	年齢	12 才
ご住所	大阪 都道 ^府 県 岸和田 (市) 郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私はえいそ^とうを見たか^とけ^とでもこわ^とた^とです
 ても、このい^としん^とか^とい^と私のす^とん^とで^とい^とる^と町^とに^とくる^と
 と^となる^とと、と^とつ^とても^とこ^とわ^とい^とです、

ふりがな お名前	三 ^と 頼 ^と 戸 ^と 愛 ^と あこみ	年 齡	10 才
ご住所	大阪 都道府県 守口 (市)・郡		

「1.17メッセージ」応募用紙

歩きたして約十五年教千km 休日用事のホ、
 時に約三〜四時間構造物ならゆる物き
 敷設しては、阪神淡路大震災で被害を
 受けました。インフララインの恩恵を
 受けてきたが、震災でライフラインが
 断たれた。自然災害と共存する人々の
 自然災害に対する防災意識を高める
 ことが、防災の第一歩ではないかと
 思います。一歩だけでも進めたいと
 思っています。神戸教遠せとローのモ
 ンターで、今でも月表に描き付く
 の横線が、最近の新高線に大急ぎ
 味、脱線高床橋の補修、新幹線の
 新幹線は、神戸は、新幹線の
 の揺れの三分の一程度の揺れに抑
 える方向性、これは、技術的に
 難しい問題です。これは、一般
 市民の建築に活用可能だと思います。
 平和貢献に継がて行くと思っています。

仮りかな お名前	匿名	年齢	58 才
ご住所	大阪府 都道府県 豊中市 市・郡		

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「1.17メッセージ」応募用紙

昨年まで奈良市に住んでいましたが、今年の春に大阪市北区に引越しをしました。

私は、阪神大震災当日の記憶は鮮明にあるのですが、住居が阪神大震災の被災地に近づいたことでより身近に感じるようになりました。

「交通機関が麻痺した大震災時の追体験を行うことにより、1.17 を忘れず、経験と教訓を語りつぐことをねらいとしています」の趣旨に賛同し今回のウォークに参加させていただこうと決めました。

(お名前) 矢木孝明 (ヤギタカアキ)

(年齢) 37 歳

(ご住所) 大阪府大阪市

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

「池が動いて 夫いっちゃんです。」
小学生の娘さんと共に おぼろの会（小学校の教室を
お借りして）に参加して下さったおかげで私の言葉です。
（私は被災地におぼろを届けるボランティアの一員として
参加していました。）
1.17 早朝からの地震がどれだけのエネルギーを
爆発させたのか。その一言が忘れられません。
阪神・淡路大震災の体験・記憶と共に生きる
私たち。
「忘れたい」「忘れない」揺り子の揺れは止まりません。

ふりがな お名前	泉 加代 いくみ かよ	年齢	54才
ご住所	大阪 都道府県	南河内	市(郡)

「1.17メッセージ」応募用紙

当時、入院中だった私は、病室で地震を体験しました。私の住む街は大きな被害はありませんでしたが、何もなすすべもなく、ベッドの上で目を拡大していく神戸・淡路の被害の様子を見ていくことしかできず、自分にもどかしさを感じていました。
あれから10年、私も「生かされている」という思いを胸に 毎日を送っています。

ふりがな お名前	みずの と し 水野 登 志	年 齢	45 才
ご住所	大阪 都道府県	枚方	市・郡

「兵庫と愛した人」 (夢で知らせて)

阪神淡路大震災の前日、早朝五時頃、天の
夫の夢をみています。大男の、夫の前には、
立ちふさがっています。そこで、生い命丈は
助けて下さい。両手をついて、頭を深く下げ
てお願いしています。淡路の官舎の扉にも見
えます。そして大男の、一味の娘に、赤い
鮮明な色の靴と、渡上れよ。夢からさ
めた私は、終日、不思議な気持ちでした。その
3月日、大震災の起りました。豊中市に住ん

でいる私も、平日、水道の、こわれ、流れ
ひひわれし、古い家は、つぶれていました。

神戸の空に、煙の立ちのぼりました。夏く
の、^{尊い}命の、犠牲になりました。宇宙の空に

神戸の、大好きな、た、夫鶴堂重一は、心配
の余り、私に、この天災を知らせて下さった
と、思い、小さな感謝と感動をこめて居いま

す。曲断大教といふ、十年の経る、この体験
と、信之太いと、思っています。おわり

鶴堂 絢美

就鳥植絢美

豐中市

71才

心は

ミシク

羊人位

36才

?

ひょうごメモリアルウォーク 2005に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「1.17メッセージ」応募用紙

01/19より現地に入っていました。「10年ひと昔」とはいいますし、今は時代の流れも速いですが、10年前のことは決して忘れることのないように、語り続けていきたいです。

(お名前) 山本哲也

(年齢) 37 歳

(ご住所) 大阪府東大阪市

「 1 . 1 7 メ ャ ャ ャ ャ 」 応 募 用 紙

震災の報を駐在中の西アフリカ・セネガル共和国で受けました。

TVで報じるニュースは、まるで終戦直前の敵機による被弾直後の映像を思い出させ慄然としました。また、冬休みを利用して娘達二人を当該国に呼んでおり、丁度1月10日に帰国したばかりで安否を確かめたくも、電話も通じず不安な時を過ごしました。

幸いなことに家族全員無事でしたが、家材道具は散乱し、特に台所は足の踏み場も無い程壊れた食器類や電気製品で埋め尽くされていた様です。

被害の状況が明らかになるに従って未曾有の災害であったことが判明しました。家族を亡くされた方、家屋・蓄財を失くされた方、筆舌に尽くせぬ不幸だったと思います。来春で10年の区切りを迎える訳ですが、当事者の方達にとって風化するものでは無いと存じます。平時に於いて乱を忘れない様な心構えで居たいものです。不幸にして2004年は台風・地震の被害を受け、天災の非情さを思い知らされる事にもなりました。

今回のメモリアルウォークなどの行事を通じ、非常時に対する心構えを再認識する機会にしたいと思います。

(お名前) 元山宥吾 (モトヤマユウゴ)

(年 齢) 65 歳

(ご住所) 大阪府豊中市

「1.17メッセージ」応募用紙

1995 1.17に生まれました

(お名前) 牛丸弦太 (うしまるげんた)

(年齢) 9才

(住所) 大阪府守口市

「1.17メッセージ」応募用紙

震災から10年が過ぎても、いえぬキズはまだまだあるでしょうが
明日のためにがんばってください。

ふりがな お名前	田中 匡志	年 齢	32 才		
ご住所	大阪	都道府県	大阪	市・郡	市

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースは○印 つけてください)	
住所	大阪府 和泉市
フリガナ	田嶋 靖之
氏名	田嶋 靖之
参加人数 (申込者を含む)	1人
申込人数1名につき1枚の申込書が必要	

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

震災10年という年になり何かできることがあればと思い参加させていただきます。

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	大阪	都道府県	堺 市 町・村
フリガナ 氏 名	松山 泰宏 (65歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

震災による不幸被害は経験した者しかわからない程多大であつた被災者の皆さんの努力と頑張りで街を見たことで素晴らしい復興は目を見張る事ばかりです。これからの10年で日本一の街になることでしょう。すがすがしくいきまうように祈る。

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

助け合う 協力を忘れないうちに
しまおう。

ふりがな お名前	中 村 由美子	年 齢	55才	
ご住所	大阪	都道府県	吹田	市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

震災から、10年目を向えましたが、被災者の方を念み、
生まれてきた人生があったと思っています。

若くは、早くして人生の歩みで何か
精一杯、頑張りたいと思っています。

(お名前) 八木伸一郎

(年齢) 59

(ご住所) 大阪 都道府県 大阪 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

地震から10年……。

神戸の街は元気に+なったと感じます。

でも、心のキズはまだまだ深いことでしょう。

神戸の人・街・景色、大好きです。

強い心を持って前進して行ってほしい
と強く願います。

頑張れ!!

(お名前) ^{はた} 火田 ^{さほみ} 早苗 (年齢) 26

(ご住所) 大阪 都道府県 豊中市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

神戸 頑張り

光輝け 神戸!!

ふりがな お名前	匿名希望	年齢	才
ご住所	大阪	都道府県	枚方 市 郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私の実家は神戸の小さなレストランに世界の食材を運ぶ稼業を営んでいました。住みは大阪にあり、震災による被害はほとんどなかったのです。

しかし、あの震災でたくさんのレストランがなくなりました。交流のあった人達もみんな散り散りになり、うちの父は37年間一人で続けてきた会社を閉めました。

ふりがな お名前	^{かんた あいこ} 神田 愛子	年齢	23才
ご住所	大阪	都道府県	枚方 <input checked="" type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

11月17日に
発行

がんばれ 新潟!

今年は暖冬さよかた。と胸をなぞるしじまが、
1月2月に向け寒おさは増すハズ。

風邪などひかないよう、お気を付け下さい。
心から応援しています!

10年前、H様にご覧いただき、感謝の気持ちで
込めて!!!

(お名前) 中山 菜穂子

(年齢) 24

(ご住所) 大阪 都道府県 茨木 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

今回新潟で地震が起きた時に、阪神-淡路大震災の事が思い起こされました。そして10年という月日が経ったことば改めて、あの日の思いが思い出されます。この10年、大変な苦勞続で復興という言葉に向かってくられたと思います。私達が思う以上に大変だったでしょう。ですが、今となって神戸の復興は勇気や元気を皆に与えていると思います。そういった「勇気や元気」の発信源として、これからも頑張っていく下すい。

ふりがな お名前	浅田 菜実子	年齢	24才
ご住所	大阪	都道府県	豊中市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

平和を喜びましょう

非日常的な恐ろしい目にあつて
初めて普段の平凡な生活のありがたみを
痛感した日でした。

震えた1/7はいつもの何気ない幸せを
振り返る機会になっています。

(お名前) ^{いづみ}石^へ幾^{ましろ}辺^こ禎子

(年齢) 23

(ご住所) 大阪府 都道府県 大阪 市・郡

1. 17ひょうごメモリアルウォーク2005参加申し込み

住所 大阪府大阪市:

氏名 カミタニ ヨシアキ
神谷 良彰 (62歳)

1. 17メッセージ
震災に負けずに夢と希望を持って頑張ってください。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)	
住 所	大阪 都道府県 吹田 市・町・村
フリガナ 氏 名	ヤマモト ミチオ (75歳) 参加総人数 ※2人以上の場合に記載して下さい。 (申込者を含む) 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

娘孫一家が垂水まで震災に合ひ、それから10年、
思い出しながらのウォークを続けて行く。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書 05.1.16

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)	(1)15キロコース(西宮市役所) (2)10キロコース(芦屋・川西運動場) (3)2キロコース(王子公園)		
	(4)10キロコース(県立文化体育館) (5)5キロコース(大倉山公園野球場) (6)追悼式典会場		
住 所	大阪	都道府県	箕面 (市) 町・村
フリガナ 氏 名	ヤマザキ ヒロノブ 山崎 宏夫	(66歳)	参加総人数 (申込者を含む) 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

あの日のことは忘れたい。
あの日の後のことも忘れたい。

メッセージ:震災時、私は大学生でした。多くの友人が被災し、数人のかけがえのない人を失いました。失ったものはとても大きいですが、生きようとする人間の力強さに心を打たれました。1月17日を忘れることなく、頑張っていきたいです。

名前:やまのうちくみこ

年齢:31

住所:大阪市

メッセージ: 私は震災当日、私はあまりの揺れに飛び起きてしまいました。最初は先ほどの揺れに驚きっぱなしでしたが、TVでの被災した映像を見て「大好きだった神戸がなんでこんな悲惨な光景になってるねん…!!」と心が悲しさと精神的な痛みでいっぱいになりました。私の自宅マンションは外壁に多少のひびが入るぐらいなどでしたがそんなに大きなダメージはありませんでした。
その夜、あまりの悲惨さや地震の怖さに怯え号泣してしまいました。

震災が起きた日から数ヵ月後、サッカーJリーグ・ガンバ大阪のホームゲームが神戸開催だったので、私はその日の観戦のために電車で神戸に向かう途中の事でした。車窓から見た景色が震災前と違い、ビニールシートに覆われた一戸建ての住宅や仮設住宅の多さ、一部のマンションの下にある駐車場が自動車が下敷きになった状態で崩れたままの光景が目につき、心が再び痛みました…。

そして、震災のその翌年からコンサートや一人で散策目的などで時々神戸に行きました。行く度に復興してきれいな街となっていくのを見てなぜか神戸が蘇ったような感じがしました。まだまだ復興しきれない部分が見えないところにあると思いますが、完全復興を祈るばかりです。最後になりますが、私は神戸という街が大好きです、なぜならば色んな名所があり、訪れるたびに楽しませてくれるから…。

名前: 井上明巳(あきみ)

年齢: 31

住所: 大阪府吹田市山田東1-31 B-511

メッセージ: 僕は、ちょうど、幼稚園の年長の時で、大阪に住んでいたんですが、ものすごい、大きなゆれだったの
で、お父さんとお母さんが、頭の上にあったタンスが倒れないように、ささえてくれました。

名前: 今川貴志(いみがわ たかし)

年齢: 15

住所: 大阪府枚方市

メッセージ: 阪急電車が初めて武庫川を越えて西宮北口駅まで復旧した日、僕はスクーターで神戸市内に住んでいた知人の所まで救援物資を運ぶことになりました。

その当時、僕は尼崎に住んでおり、行きは瓦礫やヒビの入った裏道を走りぬけ、なんとか知人に救援物資を届けることができ、帰りは夕方になってしまい、裏道を走ると暗くて危ないので国道2号線を帰ることにしました。当然、街灯も信号も点灯しておらず、渋滞する車のヘッドライトを頼りに走ることになりました。その時、歩道を見ると人の行列が絶えることなく東に向かって歩いている姿がありました。初めは気づかなかったのですが、その行列は西宮北口駅まで続いているようでした。この寒い冬の夜空の下、廃墟と仮した神戸の街を、こんなにも人達が何時間もかけて救援物資を歩いて神戸市内に持っていったんだと思い、スクーターを運転しながら涙が止まらなくなったのを覚えています。あの寒い夜から10年が経ち、今は大阪に住んでいますが、見事に復興することができた神戸の街をまた訪ねたいと思います。

名前: 浦田稔(うらたみのる)

年齢: 35

住所: 枚方市

メッセージ:あの日愛猫が暴れまくって目覚めた時大揺れ、自宅のほうは大丈夫だったけど、居酒屋の店は棚の
ボトルが全部落ちて酒臭いのとガラスの散乱で呆然・・・でもテレビのニュースが回復、神戸の大災害・大火事に比
べれば些細な出来事・・・
でも記憶から消すことの出来ない1.17だけど、心温まる優しさの始まりでもあったはず、だから早く復興して今の
神戸があるんですよね

名前:佐々木秀重(ささき ひでしげ)

年齢:49

住所:吹田市

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災からもう10年近い日まで
 大変、命を簡単に失うわけにはいけない
 大震災の当日から、~~職業~~防災を、絶対
 忘れず、現在、深刻に問題と懸念されて
 いる、「東海・東南海・南海」地震の問題は、
 また、認識は、薄いとほなせか疑問になる。
くてもいらない

1回被害はあてば、命は助からない事を、実感
 させる、(訓練・教育)が欠かせないと、これは知ってい
 てほしい事で災害には、お互いに助け合うための
 命の絆として。

ふりがな お名前	宮永 昌明	年齢	22 才
ご住所	奈良	都道府県	生駒 市(郡)

「1.17メッセージ」応募用紙

震災での出来事は神戸の人の
 ことではなく、東京の人もなに
 かあったとしても、忘れてほしくない
 と思います。私たちは幸せな神戸の
 人は今もかなしい思いを心の中に入れて
 いるんだと思うし、とてもかなしいと思
 います。

Fight

○

ふりがな お名前	京谷 愛美	年齢	9 才
ご住所	奈良	都道府県	天理 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

ちよここわかった。ふっうぬじんとはちかうようだった。
もつみてるとあたまがこんらんしやうだった。

ふりがな お名前	一坪 大貴	年齢	12 才
ご住所	和歌山 都道府県	有田 市・郡	

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

いしんかい そろぞろ ういしほうにこあめした

ふりがな お名前	竹井 孝顕	年 齡	12才
ご住所	和歌県有田郡	都道府県	市・郡